

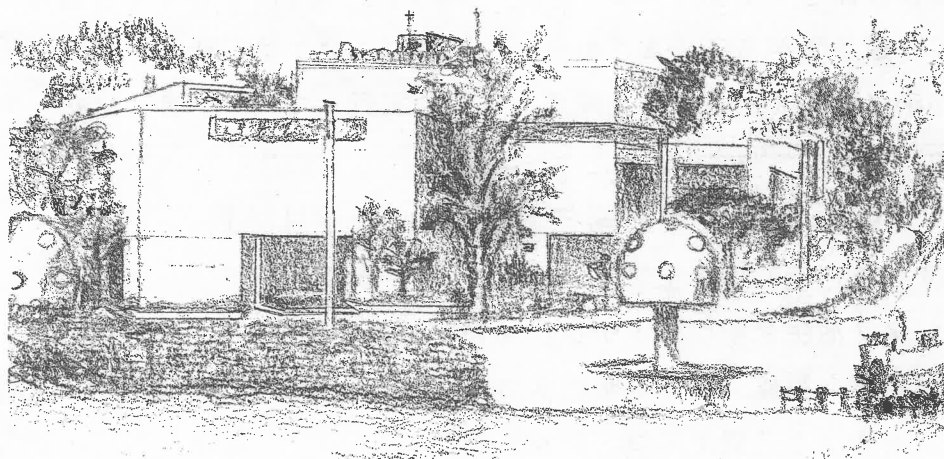
身近な自然環境・歴史的文化的環境・生活環境を保全・回復・創成する

すいた市民環境会議

2005年9月 第41号

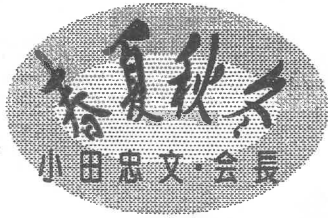
吹田の郷

発行/NPO法人すいた市民環境会議 事務局/〒564-0062大阪府吹田市垂水町3丁目8-28, 705 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 中村小夜子
会長/小田忠文 ホームページ <http://www3.big.or.jp/%7Esskk/sskk.htm> 設立/1997年3月15日 編集長/山本富雄
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便払込口座番号/00980-3-28845



目次

コラム 会長・小田忠文	2頁
文化施設探訪 播磨眞津代	3頁
活動報告 生活環境委員会	4～6頁
癒しの森を訪ねて 会報委員会	7頁
地球温暖化防止のために 一人ができることは③ 古谷啓伸	8～9頁
40分間 感動のドラマ 小田忠文	10頁
お知らせ 野草観察会 生きもの委員会	10頁
お知らせ 文化施設探訪 5回、6回 まちなみ委員会	11頁
自然と文化④ 日本の雲 秋山こずえ	12頁



ニュートン04
年5月号による
とユネスコで世
界遺産条約が採

択されたのは、今から約30年前の1972年。世界的な地球環境の危機がさげばれ始めた時期で、文化財の保護と自然環境の保護との融合をめざした画期的な条約である。▲世界遺産には自然遺産・文化遺産・複合遺産・無形文化遺産があり、「のちの世代に残さなければならない人類の宝」とされる。▲その中の自然遺産には、①地球の歴史を代表、②生態学・生物学的過程を代表、③優れた景観をもっている、④生物の多様性の保全に重要である、という4つの登録基準がある。▲このたび日本では知床が国内で三番目に登録さ

れた。白神山地は②で、屋久島は②と③で、知床は②③④の基準で登録されている。▲吹田で上記①～④を満たす場所がないか考えた。ヒメボタルの輝く千里緑地(正式には吹田千里緑地第4区)がそれに近いのではないだろうか。▲すいた市民環境会議も参加している吹田ヒメボタルの会が千里緑地でヒメボタルの調査観察を開始して8年が経過した。ここでは毎年約6千ものヒメボタルの発光が見られる。▲市街地でこのような自然に恵まれた貴重な場所は「のちの世代に残さなければならない吹田の宝」であり「吹田遺産」として維持・管理していく必要があるだろう。そしてその管理の施策や方法については行政と市民が協働して考え、実行していくべきものだと考える。

最近の主な活動報告 (6月18日～8月25日)

- | | | |
|----------|-------------------------------|----------|
| 6月18日 | すいた環境教育フェアに参加 | |
| 6月25日 | ピアノ池生き物ウォッチング (ピアノ池の環境をよくする会) | |
| 7月27日 | あった会講座 (地球温暖化メカニズム)、講師は加藤顧問 | 受講者10名 |
| 8月24日 | ジャスコと共催でエコ・クッキング | 33名参加 |
| 7月20日 | 垂水神社で打ち水出陣式、サンクス広場の打ち水にも参加 | |
| 7月30日 | 吹田まつり前夜祭、神崎川会場の打ち水に参加 | |
| 8月 6日 | 五月が丘夏祭りの打ち水に参加 | 詳しくは |
| 8月10日 | 北千里高校の打ち水に参加 | 生活環境委員会の |
| | 浜屋敷主催の打ち水に参加 | 活動報告を |
| | 西山田主催の打ち水に参加 | ご覧ください |
| 8月19～20日 | 北千里ディオス夏祭りの打ち水に参加 | |

打ち水関係

《表紙は語る》

表紙は大阪府立国際児童文学館です。開館依頼20余年。これからも子供たちに夢と創造を与えようと児童文学資料、情報などを豊富にそろえる研究機関です。世界のこどもの本、希少本などを所蔵し、その規模は西日本最大のものといわれます。(Y)

絵は蓬田理恵子・会報委員

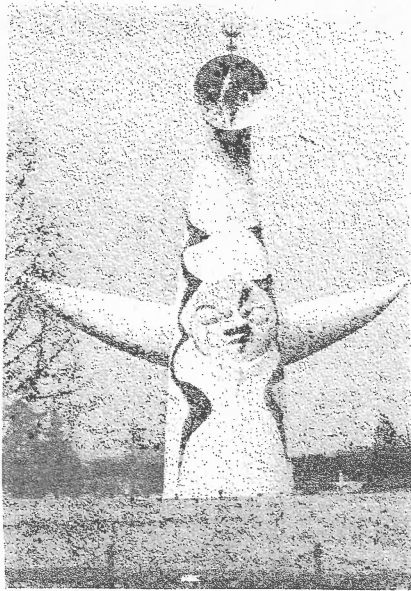
第4回 日本庭園と国立民俗学博物館

2005.6.11.(土)

大阪市淀川区 播磨 眞津代

あいにく、朝から雨である。本日の探訪先「万博公園」は35年前、“人類の進歩と調和”をテーマに開かれた日本万国博覧会々場の跡地です。通称「万博」は、過去最大の国際博覧会で、入場者数6421万人の記録はいまだに破られてはいないそうです。

集合の中央口では、高さ70m・腕の長さ25m・黄金の顔は直径11mの「太陽の塔」が出迎えてくれました。ここから、松岡さんの案内で出発。途中、工事中の看板の絵に駄洒落も飛び出したり、和気あいあいと進むうち、わが国で初めて世界一周に成功した青木洋さんの小さなヨット「信天翁(あほうどり)二世号」が展示してある場所に到着しました。



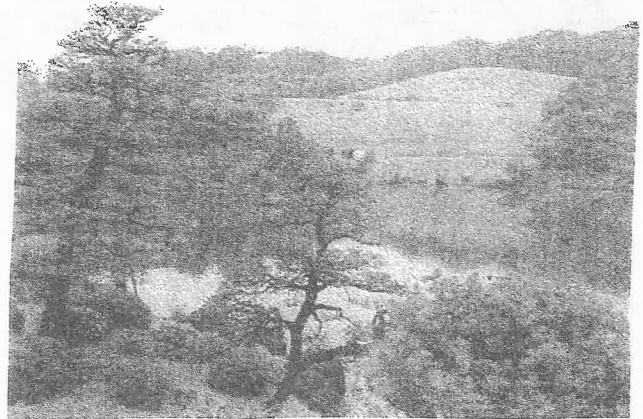
「平和のバラ園」には“剣をつるはしに”との思いを込めた、人類の平和を求めるモニュメントが楓の木の傍らにありました。何度となく来たこの園で、初めて知った事でした。

この後、水の「流れ」をテーマにした「日本庭園」に向かいました。「万博」の日本政府出展施設として造られた物ですが、当時は、千里丘陵の竹林の荒れた土地では、造園は無理なのではないかと危惧されたそうです。しかし、日本の造園技術の粋を集めて造られた見事な名園が完成し、現在も当時のまま残されています。二班に分かれ、それぞれのボランティアの方に案内され



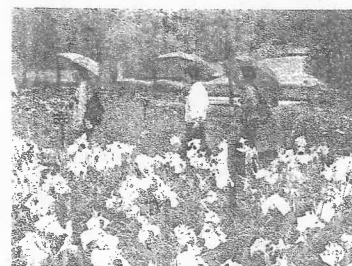
西の上流から「上代」「中世」「近世」「現代」の庭園が造られており、日本の庭園史を見ることができます。庭園を流れる水は「上代」から「現代」へ、ポンプで汲み上げた地下水を循環させているのだそうです。

正面から入ってすぐの「心字池」には、たくさんの鯉が泳いでいました。「万博」開催中、この池には、新潟県山古志村の錦鯉がレンタル



されていました。鯉は閉会后、返却されましたが、残された卵が孵化し、現在も多くの人達の目を楽しませています。

水辺には3本の黒松があり“この黒松には保険が掛けられている”等、貴重なお話も伺うことができました。そして、時折、狐の親子の姿が見受けられることもあるそうで、開園当初は想像もしなかったような生物が住みつき、新たな生態系を築きつつあるとのことでした。



「はす庵」での昼食後、小雨に映える紫陽花・花菖蒲・河骨(こうぼね)・睡蓮にうっとりしながら、最後に「国立民族学博物館」の見学を

終えた頃には雨も止み、結果的には今日の雨に感謝する一日となりました。そして、初めての参加をさりげなく迎えて下さった当日の仲間の皆さん、有難う御座いました。

降るほどに雨の明るき蓮の池

打ち水



垂水神社で

あなたはこの夏、「打ち水」をしましたか。日本に昔から息づく習慣、涼をとる知恵としての「打ち水」を私たちは忘れてきていました。地球温暖化が進み、ヒートアイランドが加速した大阪で「打ち水」の習慣をとりもどそうと「北大阪打ち水ネット」ができました。

すいた市民環境会議も、吹田市や他の市民団体と共に参加、市内7ヶ所で「打ち水」を実施しました。

- | | | |
|----------|--------------------|------------|
| 7月20日(水) | お水取り・打ち水開始 | 垂水神社 |
| 7月30日(土) | JR吹田駅前サンクス | すいた祭り神崎川会場 |
| 8月6日(土) | 夏祭り in 五月が丘 | |
| 8月10日(水) | 浜屋敷・北千里高校・新小川「花の会」 | |
| 8月20日(土) | ディオス北千里夏祭り | |

打ち水は「ひしゃく」作りから。塩田さん、「千里竹の会」「SELF」の皆さん、ありがとうございました。



浜屋敷で



すいた祭り・神崎川会場で。ドラゴンボートレースに参加した中学生も一緒に。気温 34℃が 1℃下がりました。

新小川「花の会」では、浴衣の着付け教室も開催。ご近所寄り集まって、商店街にも打ち水。



夏祭り in 五月が丘では、直前の大雨で実質の打ち水は中止、ソーランチームが掛け声で打ち水ダンス。



北千里高校ではクラブ活動中の八十人を超える生徒が打ち水に参加。三角コーンもバケツがわり。



デイオス北千里夏祭りでは阪大工学研究科の鳴海さんが科学的に打ち水の効果測定。気温は1℃下がりました。



北千里夏祭りでは、市民共同発電啓発事業の「おひさま広場」を開催。子どもたちとソーラーカーや噴水などで遊びました。



真剣な眼差しで科学的な測定器をのぞくおとなたち。

7月27日、「あった会」講座『地球温暖化のメカニズム』を開催しました。参加者は12人。化学者の目から見た地球温暖化のメカニズムを分かりやすく解説していただきました。「地球温暖化」といっても未知の部分が多く、結論付けはできないとおっしゃる先生の化学者としての真摯な姿勢に打たれました。私たちは「予防原則」にのっとなって、アクションを起こしているということなのです。

炭酸ガス(二酸化炭素)がなぜ悪い？

すいた市民環境会議顧問 阪大名誉教授

加藤俊二先生の講義を受けて

小田忠文 (内本町)



地球の気温も部屋の気温も、そこに入る、あるいは発生する熱エネルギーと出ていく熱エネルギーの差によって決まります。

地球を暖める熱エネルギーは地熱と太陽からのエネルギーですが、太陽からのエネルギーは地熱の2万倍以上なので地熱は無視できます。

太陽から地球に届く熱のうち地表に吸収されるのは約50%です。残りは大気や地表で反射されています。この届いた熱は熱放射というかたちで宇宙に放射されます。

地球の温度は、太陽から届いて地表に吸収される熱エネルギーと地球からの熱放射のバランスによって決まります。これによって地球の平均気温は約15℃に保たれています。

大気の成分は約80%が窒素、約20%が酸素です。「合わせて100%。あれ～？残りのガスは？」と思います。しかし残りのほん

の1%以下の中に二酸化炭素があるのです。二酸化炭素の割合は0.037%なのです。ゼロが多くてわかりにくいのでppmという単位(1ppmは百万分の1)を使います。

二酸化炭素の大気中での濃度は、産業革命以前は280ppm程度でしたが、産業革命以降、化石燃料の燃焼、吸収源である森林の減少などによって年々増加し、今日では370ppm程度にまで上昇しています。このように大気中にほんのわずかしかない二酸化炭素が今日の重要な問題となっています。それは二酸化炭素の化学的作用が原因なのです。

地球からの熱放射は赤外線形で出ていきます。放射熱は大気中を通過しますが圧倒的にたくさん存在する窒素や酸素は何の影響も及ぼさないのです。二酸化炭素がその赤外線の一部を強力に吸収する性質を持っているのです。つまり宇宙に逃げていこうとする熱エネルギーを吸収しているのです。

ここで温暖化ガスと呼ばれる二酸化炭素やフロンが登場します。温暖化の作用をするガスには二酸化炭素やフロンのほかに水蒸気、メタン、オゾン、一酸化二窒素など、いまのところ54種類が挙げられています。二酸化炭素は他のすべてのガスの合計よりも多くの赤外線を吸収するのです。

つまりフロンの製造中止はもちろんなことですが、二酸化炭素の増加を抑えることが温室効果を押さえるのに手っ取り早いのです。

癒しの森を訪ねて

会報委員 (間瀬・蓬田・山本)

本誌 36 号 (2004 年 11 月号) にすいたの古木、大木マップ (1997 年 生き物委員会調査) を掲載しました。嬉しいことにこの記事を読まれた会員の方から「案内してほしい。」と要望がありました。この癒しの森は、今どうなっているのでしょうか。

あれから 8 年。長い時間が流れました。少し気になったので 7 月 18 日、仲間と「まず身近な所から検証を…」と歩いてみました。

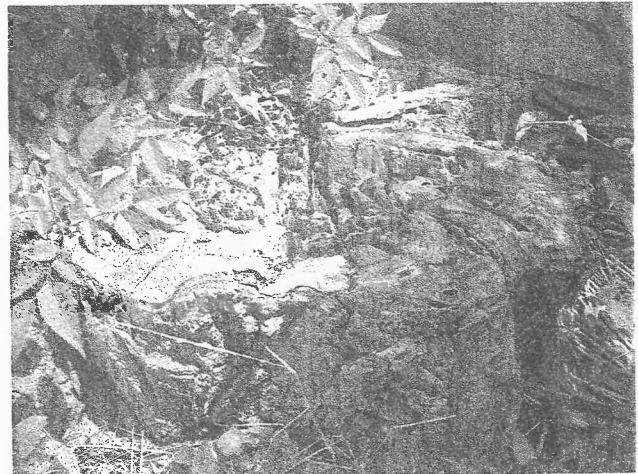
その一部を紹介します。

樹木 No	所在地	樹名	幹周 (cm)	樹高 (m)	株立ち	現況
159	千里山星が丘	アベマキ	304	22	2	伐採
161~167	高野台 1	ソメイヨシノ	254~422	10	3-6	枝ばらえなどで姿が少し変化
205	垂水町 2	ポプラ	264	19	1	伐採
303	藤が丘 28	エノキ	552	16	4	伐採

高野台 1 のソメイヨシノ (枝ばらえ)



垂水町 2 のポプラ (切株)



「短信」

ピアノ池の環境をよくする会 (地元自治会など諸団体と協働して 2004 年 2 月に設立された) は、6 月 25 日 (土) “ピアノ池生きものウォッチング” を開催しました。

その催しで、当会の小田忠文会長は、外来魚を解剖しながら生態系について解説しました。



CO2 目標マイナス6% * 家庭部門の今プラス36%

1997年につくられた京都議定書において日本は、2008～2012年の5年間平均で温室効果ガスの排出量を1990年のマイナス6%に減らすことを約束した。温室効果ガスとは二酸化炭素のほかにメタンやフロンなど6種類であるが(本誌20号10頁参照)、二酸化炭素が約90%を占めるので本文の記述は二酸化炭素に限定する。

表1に最近の排出量を示した。工場主体の産業部門と違って家庭部門の削減は非常にむづかしく、まだ増加している。実際、家庭内を見渡すと空調設備増強、コンピューター、電気便座器、大きい乗用車への買い替えなど、省エネルギーの雰囲気は日常生活全体に広がらない。子供が分家して乗用車を買えば買い増しと同じ結果になる。

政府は、家庭の電気代やガス代をどれくらいに押さえればよいのかという試算を6月に発表した(表2)。試算どおりに2002年を基準に一律に10%削減しても1997年頃の排出量であり、1990年基準ではまだ+16%である。

数字のトリックを確認しておく。1990年基準で目標-6%で、今年が+36%ということは、今年を基準にすれば26%削減(=36÷136)で1990年の水準に戻り、31%削減(=42÷136)で議定書の目標-6%に達する。

会員の挑戦のために二酸化炭素排出量(単位はkg)の計算式を示しておく。

電気使用量kWh×0.36

ガス使用量 m^3 ×2.1(都市ガス)

このシリーズについてご意見・感想をお寄せください。実行している省エネルギーのし方もお聞かせください。 郵送・FAXは表紙に記載の事務局まで。メールは k-kaigi@clubaa.com

岸部北 古谷啓伸

ガス使用量 m^3 ×6.3(プロパンガス)

水道使用量 m^3 ×0.58

焼却ごみkg×2.4

灯油使用量L×2.5

ガソリン使用量L×2.3

軽油使用量L×2.6

政府が試算した表2を達成するために一人ができることは何か。表3に排出源を、表4に対策とその削減率を示した。乗用車の存在が大きく、乗用車を手放すだけで家庭部門の-6%をほぼ達成する。

しかし、乗用車を手放す方法は「持続可能な発展」と言えない。最近、スマートドライブあるいはエコドライブという言葉がある。省エネルギーセンターが昨年、スマートドライブ競技をおこなった。①ゆっくり加速、②一定速度の走行と早めのアクセルオフ、③アイドリングストップがどれだけ実施できるかを東京都内の一般道路56kmで燃費(km/L)で競った。1300ccクラスで燃費が平均19.6km/L、普通運転の燃費が14.5km/Lだった。同一距離を走行した場合のガソリンの削減率は26%(=14.5÷19.6-1)であり、2300ccクラスの削減率は25%だった。ずいぶん粗っぽい評価だが、乗用車部門に限れば1990年の水準に戻ることになる。ただし、このスマートドライブには熟練を要する。

もっと削減したい、と言う人には京都メカニズムのルールを活用して、排出権を買い取る方法がある。以下、次回。

表1 家庭部門におけるCO₂排出量

	1990年 実績	2002年 実績	2003年 実績	2005年 推定
家庭部門	1.29億ト	1.66億ト +28.7%	1.70億ト +31.4%	1.76億ト +36%
産業部門	4.76億ト	4.68億ト -1.7%	4.78億ト +0.3%	

%は1990年を基準にする。実績は政府発表、推定値は筆者

表2 2010年に家庭で

消費する光熱費目標金額

	一戸建て	集合住宅
電気	11,400(9.5)	9,200(9.8)
都市ガス	5,900(9.2)	5,100(10.5)

大都市で暮らす4人家族の毎月の目標金額

()内は2002年実績に対する削減%

表3 家庭における排出源

乗用車 35%	廃棄物 4%
家電製品 25% (冷蔵庫・洗濯機・照明など)	台所 3%(炊飯器、レンジなど)
暖房 15%	冷房 2%
ガス 12%(給湯・風呂など)	その他 6%

環境省2002年発行冊子『環のくらし』から抜粋

表4 排出源に対する対策と家庭部門における削減率

対 策 例	削減率%	対 策 例	削減率%
自動車に乗るのを止めて		シャワーを1日1分減らす	1
公共交通機関に切り替える	30	買い物袋を持ち歩き、 省包装の野菜などを選ぶ	1
ハイブリッド自動車に乗り換える	18	1日5分間のアイドリングストップを行う	0.7
屋根に3kWの太陽光発電装置を取り付ける	18	冷房温度を1℃高く、 暖房温度を1℃低く設定する	0.5
設計と材質を工夫した家屋に住み替える	14	ジャージの保温を止める	0.5
普通自動車から 軽自動車に乗り換える(重量半分)	10	内炎式ガステーブルに買い換える	0.5
燃料電池コージェネレーションを導入する	8	経済的な走行速度の維持	0.4
普通自動車から 小型自動車に乗り換える(重量2/3)	7	急発進・急加速・急ブレーキをやめる	0.4
太陽熱温水器を取り付ける	7	風呂の残り湯を洗濯に使う	0.3
近所の人と自動車を共同使用をする (個人専用にしない)	6	エコタイヤを装着する	0.2
家族が同じ部屋で団らんし、 暖房と照明の利用を2割削減	4	駐車違反をやめる	0.2
週2日往復8kmの車の運転を控える	3	春秋にエアコンのスイッチを抜く	0.2
効率が2倍のエアコンに買い換える	3	テレビにスイッチ付きコードを利用する	0.2
ガラス窓をすべて真空ガラスにする	2	テレビ番組を選び1日1時間 テレビ利用を減らす	0.2
プラスチックゴミを半分にする(回収・再生)	1.6	節水シャワーヘッド(浄水タイプ)の導入	0.2
待機電力を90%削減する(プラグを抜く)	1.5	古紙100%を利用する	0.2
排熱回収型給湯器を導入する	1.5	カーエアコンの使用を控えめにする	0.1
食器洗い器を導入する	1.5	自動車に不要な荷物を載せない	0.1
自動車の定期点検の実施	1.2	大型の自動車に乗り換える	-7

環境省2002年発行冊子『環のくらし』から抜粋

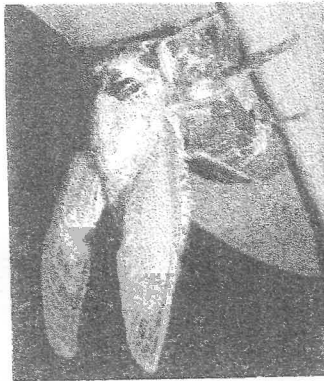
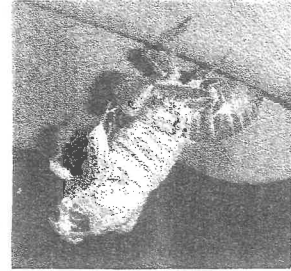
燃料電池コージェネレーションとは天然ガスから熱と電気を効率よく生み出すシステム

40分間・感動のドラマ

～7年間の沈黙 クマゼミの羽化～

内本町 小田 忠文

関東以西の梅雨が明けた17日夜、我が家でクマゼミの羽化を観察しました。高さ2mぐらいのハナショウガ（花生姜）で羽化したので観察が容易でした。約40分間のドラマでした。



生きもの委員会 野草観察会の案内

いつものように
いつもの 道をゆき
いつもの 丘に立つ
いつもの花が また
いつものように咲き
白い 秋の風に
蜻蛉が ふうわり
いつものように飛ぶ

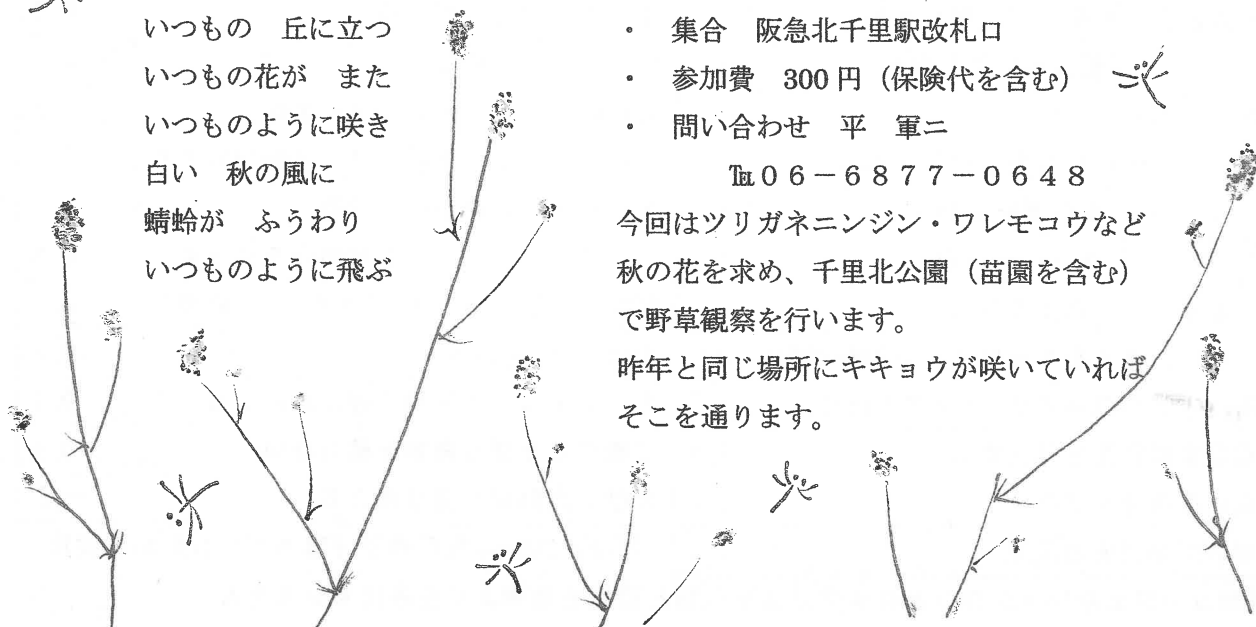
05年第2回 千里北公園周辺

- ・ 日時 9/18 (日) 午前9時～12時
- ・ 集合 阪急北千里駅改札口
- ・ 参加費 300円 (保険代を含む)
- ・ 問い合わせ 平 軍二

TEL 06-6877-0648

今回はツリガネニンジン・ワレモコウなど
秋の花を求め、千里北公園 (苗園を含む)
で野草観察を行います。

昨年と同じ場所にキキョウが咲いていれば
そこを通ります。



いいでしょこのまち 文化都市吹田「文化施設探訪」

(第5回) キャットミュージックカレッジ・劇団ひまわり・花とみどりの情報センター

日時：平成17年9月13日(火) 9:30~12:00 (雨天決行)

見学終了後の昼食をとりながら懇親会を開催します。希望者は参加ください(終了13:30)

集合：地下鉄江坂駅北改札前(解散：江坂公園)

参加費：会員300円 非会員400円(懇親会参加者は別途昼食代1200円)

申込み：先着20名(9月10日(土)までに 大越 TEL 06-6382-7769 FAX 06-6382-8697へ)

見学コース：大同生命→花とみどりの情報センター→劇団ひまわり→キャットミュージックカレッジ

懇親会：劇団ひまわり1階 カフェ・レストラン「ジューラソーレ(Girasole)」でイタリア料理風のランチ
<<見学のポイント>>

・学校法人 キャットミュージックカレッジ専門学校

江坂公園の東側に建っているガラス窓の美しい建物がキャットミュージックカレッジです。

数多くの人材を音楽業界に送り出している「音楽のプロフェッショナル」を育成する機関です。1995年に江坂へ移転してきました。専門課程と夜間部、リトルキャットなど約1200名が通っています。

プロを目指すミュージシャン・ダンサーの育成と舞台の裏方で活躍する音響や照明・レコーディング・映像・ピアノ調律などのスタッフ、エンジニア、プロデューサの育成をおこなっています。

江坂公園東周辺に5棟のビルを構え、公共のホールに匹敵する「キャットホール」や「レコーディングスタジオ」などプロ仕様・最新設備の整った国内最大規模の施設環境を誇っています。

・劇団ひまわり 大阪俳優養成所

江坂公園の北東の7階建てのスマートなビルが劇団ひまわりです。

映画、テレビ、CM、舞台など芸能メディアの分野で活躍する人材を送り出してきた劇団で1996年江坂に移転してきました。幼稚園児からプロを目指す研究生まで、約900人が学んでいます。

芸能活動のみならず、演劇を通して表現力や創造力を培う情操教育に力をいれています。2階の劇場「シアターぷらっつ江坂」で、定期的に研究生の発表会があり一般に公開されています。

(第6回) 万博35周年 万博記念公園の日本民芸館と

府立国際児童文学館・現代美術の森・万博記念館

日時：平成17年10月16日(日) 9:30~15:00 (雨天決行)

集合：万博記念公園 自然文化園中央口改札前(解散：生活誕生館 DILIPA)

参加費：会員700円 非会員800円(自然文化園、日本民芸館入館料含む)

申込み：先着20名(10月13日(木)までに 大越 TEL 06-6382-7769 FAX 06-6382-8697へ)

見学順序：中央口→太陽の広場→日本民芸館→府立国際児童文学館→(昼食：各自で持参下さい)→

自然文化園の現代美術の森→生活誕生館 DILIPA 内の万博記念館→解散

<<見学のポイント>>

・日本民芸館：1970年の万国博覧会当時、大原総一郎クラレ社長の呼びかけで、関西の企業17社が「暮らしの美」をテーマに民芸品を集めて出展したテーマ館でした。現在、財団法人大阪日本民芸館が運営しています。民芸運動の先駆者の一人で陶芸家の浜田庄司初代館長の常設コーナーもあります。

・大阪府立国際児童文学館：1984年開館。世界の子供の本や研究資料などを所蔵。国際的な児童文学資料・情報・研究センターです。見学当日、泉啓一のガラス絵展示があり、「銀河鉄道の夜」など宮沢賢治の世界が楽しめます。

・現代美術の森：大阪府の協力を得て、万博35周年を記念してオープンした現代彫刻の森です。

・万博記念館：万博当時出展された世界各国の工芸品や万博の資料が展示されています。

以上

日本の雲

8月猛暑の中でこの原稿を書いています。去年からクーラー無しで暮らしていますが、風の恩恵にあずかり、自然に身を任せています。前回の「日本の雨」でも「雨」が変わり始めたのかなーと思いながら書いていましたが、気象に変化が起きているのでしょうか？

今回は「雲」を取り上げてみました。気象学は雲で始まり雲で終わるといわれます。雲は刻々と形を変え無限のようにみえますが「十種雲形」に分類されています。が、ここでは科学的に捉えた雲ではなく、先人達が生活の中で感じてきた雲を書いてみます。

昔の人は四季折々に出る雲を見て天気や現象を把握していたようです。私達の年代は今忘れ去られようとしている中、その断片を記憶の中に持っています。

月が暈（かさ）をかぶるのを見て「明日は雨」、むくむくと盛り上がる入道雲に激しい雷雨を予測します。桜の季節、やがて雨になる気配のくもり空を「花曇」。北海道では晩春ニシンがやってくる気配を思わせる曇天を「鯨曇」と呼んでいたそうです。ニシンが来なくなった今でも呼ぶのかはわかりません。同じように秋鯖のとれる時期にあらわれる鯖の背の斑点を思わせる「鯖曇」雨の前の雲です。吉兆を思わせる「瑞雲（ずいうん）」、夕焼け雲にはとすることがありませんか。うっすらと紫がかった

秋山 こずえ

雲「紫雲」、阿弥陀仏、観音菩薩、勢至菩薩がお迎えに来る時のつてくると信じられていました。その他「鳥曇」「鯛曇」「浮き雲」「綿雲」「青雲」など、それぞれに生活と結びつけて捉えていました。最近では「地震雲」の現象が話題を集めています。

良好な自然環境がいかに日々の生活に大切なものか、今こそ先達の智慧を見直し、拝借する姿勢が必要ではないでしょうか。

この夏は、打ち水の効用が見直されたようですが、そろそろ家の駐車場のコンクリートを剥がすことを考えませんか。猛暑の中そんなことを考えながら書いています。



《編集後記》

このごろ、地球は怒っているのだろうか。大陸の高気圧が居座って、あまり雨が降らなかったような気がするし、四国地方は、深刻な渇水状態に陥っている。ダムの水が枯れてしまった所があったり、逆に鉄砲水で被害を受けた所があったりする。地震にも驚いた。単に自然現象だと、いつも他人事で済ませる訳にはいかない。そういう時期が今、来ているのだと思う。地球温暖化って何だろう…。私とどういう関係があるんだろう…。何かできるんだろうか…。 少しでも、皆んなで考えて見ようよ。

(編集長)